

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 林 貴文

- I 開催年月日 令和 4 年 6 月 16 日（木）
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 43 分
III 出席委員等 [出席委員] ◎林 貴文 ○横田 誠二 新開 広恵
熊木 義城 埜田 悦子 筏井 哲治
本田 利麻 福井 直樹 水口 清志
(◎…委員長 ○…副委員長)
〔議長〕 坂林 永喜
〔副議長〕 ※本田 利麻副議長は委員として出席
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
〔委員外議員〕 梅島 清香 田中 勝文
〔事務局職員〕 西本 幸夫 高嶋 史恵 吉本 昌史
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

- 1 市民病院事務局長より、非課税扱いである出産費用の一部を課税扱いとして徴収していたことに関する陳謝があった。また、対象者への返金手続きを進めていることや、今後は関係法令等の確認を徹底し再発防止に努める旨の説明があった。
- 2 付託議案について
議案第 50 号 令和 4 年度高岡市一般会計補正予算（第 2 号）のうち本委員会所管分
議案第 55 号 高岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
議案第 56 号 高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
議案第 59 号 工事請負契約の締結について（旧高岡市民会館解体工事）
及び
議案第 64 号 財産の取得について（高規格救急自動車）

以上、予算議案 1 件、条例議案 2 件及びその他議案 2 件の計 5 件について、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑は次のとおり。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【議案第 50 号のうち、予防接種事業費について】

- 子宮頸がん予防ワクチンを自費で接種された方に対して補助するとのことだが、接種当時の領収書を保管していない方もおられるのでは。
- △ 子宮頸がん予防ワクチンを接種する場合、母子手帳が必要となる。母子手帳には接種履歴が記載されており、記載されている接種日を確認することで、支給決定を行う。

3 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔福祉保健部〕

- 。令和 3 年度高岡市介護保険事業実施状況について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

〔市民病院〕

- (1) 令和 3 年度高岡市高岡市民病院事業会計決算の概要
- (2) 「高岡市民病院の利便性向上施設の整備・運営事業」における公募型プロポーザルについて

〈 委員から次の質疑があった。 〉

【決算の概要について】

- 収益的収支の状況について、補助金が約 20 億円となっているが、その内訳は。
- △ 県からの補助金が約 12 億円であり、残りは市からの繰入金である。国からの補助金については、その他医業外収益に含めて計上している。

【公募型プロポーザルについて】

- 利便性向上施設とは、具体的にはどのような施設か。
- △ このたびのプロポーザルにあたり全国の事例を調査したところ、薬局のプロポーザルを実施している事例が多く見られた。本市としても薬局等を想定しながら、広く利便性向上施設を公募する。
- 薬局をはじめいろいろな可能性を探るようだが、市民病院の付近にはすでに薬局があり、民業圧迫につながるのではと危惧するが、見解は。
- △ 既存の薬局との競合という問題は確かにあるが、必ずしも淘汰されるわけではなく、むしろ競争原理が働くものと考えている。

〔消防本部〕

- 。高岡市防災講演会の開催について

〈 委員から次の質疑があった。 〉

【講演会の開催について】

- 講演会の参加対象者は。
- △ 高岡市防火管理協議会の事業所となっている 300 数社をはじめ、市内の学校、自主防災組織、消防団、近隣の消防本部、県や市の関係部局など、約 600 か所に対し講演会の開催について案内したところである。
- 講演会だけでなく防災運動会を実施してはと考えるが、見解は。
- △ 地域における防災訓練や消防団に実施いただいている秋季検閲訓練などにおいて防災運動会のような内容に取り組めないか、検討していきたいと考えている。

4 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第 104 条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

5 その他

次回の常任委員会の開催について

7 月 14 日（木）午前 10 時に開催することが報告された。

〈 委員から次の質疑があった。 〉

【福祉施設への支援策について】

- 令和 3 年 12 月に、燃料費高騰を受け福祉施設への支援を実施したところであるが、その後も燃料費は上昇している。福祉施設の経営は困難さを増しており、一部の施設では利用者の負担額が増えたとも仄聞している。再度支援策を設けてはと考えるが、見解は。
- △ 新型コロナウイルスの感染状況や、世界情勢の影響によるエネルギー価格や食料品価格等の推移を把握し、それらに対する国や県の支援策を注視していきたい。令和 3 年度に実施した燃料費に対する助成も考慮しつつ、適時適切な支援策を検討したいと考えている。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（18名）

生活環境文化部長	二 塚 英 克	市民病院事務局長	柴 田 文 夫
生活環境文化部次長	須 田 稔 彦	総務課長	上 森 智 美
文化振興課長	寺 井 知 恵	医事課長	島 田 輝
福祉保健部長	戸 田 龍 太 郎	消防長	浦 島 章 浩
福祉保健部次長	山 本 真 弘	消防本部次長 総務課長	有 澤 智 文
社会福祉課長	中 保 哲 憲	消防本部参事 予防課長	奈良岡 由多可
社会福祉課 福祉連携推進室長	大 野 美 喜 子	警防課長	神 谷 勝 也
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	野 村 岳 人		
高齢介護課長	関 原 総 臣		
保険年金課長	芹 山 奈 緒 樹		
健康増進課長	赤 阪 典 子		